

第3回 圏域地域医療構想策定委員会

圏域	丹波圏域
日時	平成27年11月19日(木) 14:00～15:35
場所	丹波市立柏原住民センター2階A会議室
司会	石井会長(丹波市医師会長)
出席者	欠席 足立委員 余田委員 井手委員 以外は本人出席
議事次第内容	1(整理) 市ごとの在宅医療への対応について 2(説明) 必要病床数推計の都道府県間調整について
結論	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの在宅医療の取組みは、篠山市は病院主体、丹波市は診療所主体となっており、大きな違いを認識した。 ・丹波市の供給量不足(今より3倍必要)について、柏原赤十字病院が在宅支援病院、大塚病院が後方支援病院となる回答を得たため、今後医師会で協議を行う。 ・篠山市は、ささやま医療センターが在宅支援病院となる準備を進め訪問診療を行う。今後、丹波市の動きをみながら機能を高めるとともに、診療所の取組みを拡大する。 ・都道府県間調整について、国通知補正後の4機能別病床数は急性期と回復期が減床となるが、慢性期が増床されるため、特に意見はなく合意を得た。 ・県内で調整する病床(計△85床)、及び圏域間調整について、今後必要となる場合を説明。特に意見はなし。
主な意見・質疑応答	特に異論なく上記結論を得た。
次回までの課題	特になし。